

上粕屋・一之郷南遺跡
 上粕屋・一之郷上遺跡
 上粕屋・和田内遺跡
 上粕屋・香々久保遺跡
 上粕屋・御伊勢ノ森遺跡
 上粕屋・北久保遺跡

調査期間 20090501～20120131

所在地 伊勢原市上粕屋

時代

旧石器
 縄文
 弥生
 古墳
 奈良・平安
 中・近世



作成日:20090611 更新:20120502

概要

本調査は、中日本高速道路株式会社を事業主体とする新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査で、2009(平成21)年5月～2012(平成24)年1月まで調査を実施しました。

本遺跡群は、小田急小田原線伊勢原駅の北西約3kmの地点に位置し、上粕屋扇状地内の台地、大山山麓東南縁の丘陵部に所在します。遺跡は、上粕屋・一之郷南(かみかすや・いちのごうみなみ)遺跡(伊勢原市No.206。以下、「伊勢原市」省略)、上粕屋・一之郷上(いちのごうかみ)遺跡(No.132)、上粕屋・和田内(わだうち)遺跡(No.206)、上粕屋・香々久保(こうくくぼ)遺跡(No.138)、上粕屋・御伊勢ノ森(おいせのもり)遺跡(No.74)、上粕屋・北久保(きたくぼ)遺跡(No.39)の計6遺跡の調査を実施しました。以下、時代ごとに概略します。

旧石器時代:一之郷南遺跡と和田内遺跡から見つかりました。一之郷南遺跡からはB1相当層から尖頭器等の遺物が出土しました。和田内遺跡からは、B1下部～B2下部層にかけて5つの遺物集中が見つかり、ナイフ形石器・搔器(そうき)等が出土しています。

縄文時代:上記各遺跡から見つっていますが、御伊勢ノ森遺跡で約10軒の竪穴住居址が見つかりました。御伊勢ノ森遺跡の近くに縄文時代の集落遺跡の神成松(かみなりま



▲5区 旧石器時代石器出土状況



▲7区 J4号竪穴住居址

つ)遺跡があり、今回見つかった住居址は、神成松遺跡から続く縄文集落の一部と思われます。

弥生時代:香々久保遺跡から見つかりました。遺構と遺物は、「偽ローム」と呼ばれる赤褐色スコリア質土が堆積している範囲から見つかりました。土器は、弥生時代前期～中期中葉に帰属すると考えられます。また打製石斧も出土しています。遺構は、円形を呈した土坑です。土器と同時期の所産と考えられます。

古墳時代～奈良・平安時代:各遺跡から見つかっていますが、住居址が見つかっているのは、一之郷南、一之郷上、和田内、香々久保遺跡からです。一之郷上遺跡の住居址からは鍔帯金具の鉞尾、皇朝十二銭の長年大宝が出土しています。

中世:和田内遺跡から見かりました。お墓は2箇所あり、「糟屋一族の墓」の伝承が残る場所から1箇所。その下段から1箇所見つかりました。お墓は斜面をL字状に掘削し、平坦面を造り出していました。前者の中央部に土坑が見つかり、そこから渥美製の骨壺が出土しました。後者は、拳大の礫で構成された集石とその直下から土坑が見つかり、土坑から火葬したと思われる骨が出土しました。

近世:各遺跡から見つかっています。耕作に関する畝状遺構やイモ穴と思われる土坑、区画的な溝状遺構が見つかりています。



▲3区西 H8号住居 遺物出土状況



▲ 5区 C1号平場全景



▲ 5区 C1号平場内 7号土坑土層断面